

# 県・県警に現場の声を

## 第二十三回ダンプキヤラバン栃木行動

七月二十八日、第二十三回栃木ダンプキヤラバン行動を支部代表ら十三名が参加して行いました。

【栃木県警本部】  
過積載問題の背後責任追及、特に荷受業者



今年で23年目になる県、県警に対する要請行動。組合員が実態を訴える重要な取り組みです。

七月二十八日、第二十三回栃木ダンプキヤラバン行動を支部代表ら十三名が参加して行いました。

参加した大島広明さんは「過積載の現状はまったく改善されていない。根本は単価問題にある。一番弱い立場

対峙した交通指導課は「受け取る側には対策が重要なのは理解した。他県にまたがる問題なので簡単ではないが情報を提供してもらいたい」と回答しました。



県の回答を聞く参加者。茨城から「ダンプの生き字引」大平さん(右)も駆けつけていただきました。

手だけでなく可能であれば事件の背景も含めて追及したい」と強調しました。

【栃木県】  
県に対しては単価改善、施工の平準化、労働、建退共問題、過積載対策などを中心に要請しました。

## 六十七現場で単価調査実施

栃木県は、買いたたき防止などを目的に、発注工事現場で県職員による単価調査を毎年二月に実施しています。

今年度の調査は県内九土木事務所六十七現場で実施、個人持ちダンプ四十

長は冒頭あいさつの中で「いま最も切実なのは仕事がないこと。このような不安定な業界では担い手は育たない」と訴えました。

県側は「可能な限り前倒し発注できるように債務負担行為を活用するなど取り組みを強めたい」と回答しました。

## 石井書記長は「設計労務単価引き上げ率との関係など調査結果の分析も重要」と提起しました。

発注者による広範囲な単価調査は、不当な

先月に続いて「激シブ昭和解」です。真田幸村も歩いた犬伏街道沿いにある鈴木食堂を紹介しました。

扇風機からの熱風のなかで、シンプルなラーメン(六百元)をいただきます。うまい！これで十分です。

## 佐野ラーメン放浪記⑫

### 【鈴木食堂(犬伏中町)】



この鈴木食堂もそんなお店です。正午に入っ

ピンハネの抑止など様々な効果が期待できます。今後継続して取り組んでいただくよう要請しました。

【県が台費記録確認大きな一歩踏み出す】  
工業振興課からは、初めて砕石工場ハトローを実施し、台費測定記録を確認したことが報告されました。従来の消極的な姿勢から大きく踏み込みました。

工業振興課は採石法に基づき砕石工場の許可業務を担当してい

て三〇分の滞在中客は私一人だけ。わずか六百メートル先の森田屋

それだけの味の差があるでしょうか。とてもあるとは思えません。実力とは違う部分で、



住所佐野市犬伏中町1925 電話0283-22-2293  
営業時間 11:30~14:00 17:00~20:00  
定休日 月曜日



ます。しかし、採石法は過積載について直接的な行政権限を行使することが困難な条文になっていきます。

県は今回、業者から提出されている採取事業計画書などを活用して取り組みました。県の変化を業界の変化につなげたい！

富める者はますます富み、貧しい者はますます貧しくなります。食へ終わり千円札を出すと、高齢のご主人は深々と頭を下げながらおつりを手渡すのでした。

平成29年3月12日新免許制度施行決定。準中型免許の導入により、普通免許での運転可能車両総重量が現在の5トン未満から3.5トン未満に。初めて免許を取得する若者は施行前に普通免許取得を。